

授業科目(ナンバリング)	介護基礎学Ⅱ (DA104) (実践的教育科目)			担当教員	浦 秀美 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>専門職として介護を展開する際には、科学的根拠に基づいて、今後予測しうる様々な状況を想定していく能力が必須である。その基礎として、人体の構造や心身機能に関して基本的事項を理解し、移動、睡眠、身じたくや入浴、清潔保持、食事、排泄、終末期等の介護行為に関して心身から両面とらえることができ、安全面での留意点や心理的配慮ができるようになる。</p> <p>本講義では、<u>介護を必要とする人の生活支援を行うため、介護実践の根拠となる人間の心理、人体の構造や機能を理解する学習とする。</u>そして、本学のディプロマポリシーでも示されている専門知識・技術を修得し、課題解決を図ることができるようになることもねらいとしたい。</p>							①③⑦⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	基礎的な身体やこころのしくみを踏まえ、障害や疾病に起因する背景を説明できる。				・ 定期試験 ・ 課題レポート	20% 15%	
情報収集、分析力	自分の身体に起こる様々な現象に気づき、機序を調べ、考察できる。				・ 定期試験	10%	
コミュニケーション力	人間の諸臓器の解剖・生理を理解し、それぞれの関連性を説明できる。				・ 定期試験 ・ 課題レポート	10% 15%	
協働・課題解決力	人間の身体に起こる様々なトラブルについて、その機序を理解し、主な対処方法を説明できる。				・ 定期試験	30%	
多様性理解力							
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> <li>定期試験 (70%) : 筆記試験 (持ち込み不可) を行う。</li> <li>課題レポート (30%) : ポートフォリオのアンケート機能を用いて実施する。実施後はポートフォリオや授業中にフィードバックする。別途課題は、授業内でテーマや体裁、文字数などを指示する。文字数不足および誤字・脱字、体裁が異なる場合などは減点の対象とする。</li> </ul>							
授業の概要							
<p>人間の日常生活の基本となる、移動、睡眠、身じたく、入浴、清潔保持、食事、排泄、終末期等に関連する介護技術の根拠となる知識についての理解を深めていく。様々な機能障害や疾病等から来る生活の困難さに関し、介護業務の実務経験を有する教員が実践事例などを織り交ぜながら解説する。また、時折ディスカッション等も行いながら授業を展開する。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：介護福祉士養成講座編集委員会(2019)最新介護福祉士養成講座 11『こころとからだのしくみ』 中央法規出版株式会社</p> <p>参考書：適宜紹介する</p> <p>指定図書：中央法規『最新 介護福祉士養成講座 11 こころとからだのしくみ』</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>ただ単に、介護技術を提供するだけでは、専門職とはいえないと考えています。専門の知識や技術を用い対象者の状況にあった介護を展開していくことが重要です。そのため、必要な科学的根拠となる身体の構造や働き、精神的な関連などを学び、介護過程をはじめとする、介護全般の基礎をしっかりと身につけて欲しいです。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション <u>こころとからだのしくみⅡ</u> <u>食事に関連したこころとからだのしくみ①</u>	体をつくる栄養素、1日に必要な栄養量、水分量など、食べることの生理的意味について学ぶ。食欲・美味しさを感じる仕組みやのどが乾くしくみを理解する。	予：実家の雑煮の中身を調べる 復：要点整理
2	<u>こころとからだのしくみⅡ</u> <u>食事に関連したこころとからだのしくみ②</u>	食物を口まで運ぶ時の視覚の情報、手の機能、姿勢と運動について学ぶ。	復：消化、吸収をまとめる
3	<u>こころとからだのしくみⅡ</u> <u>食事に関連したこころとからだのしくみ③</u>	嚥下障害、誤嚥のある人の食行動や、低血糖・高血糖、食欲不振、食事制限が必要な人の食行動など、食に関する機能低下や障害の原因、食事への影響を学ぶ。	復：糖尿病を有する人の食事の留意点、嚥下困難が及ぼす影響をまとめる
4	口腔清潔に関連したこころとからだのしくみ	口腔内を清潔に保つ意味、口腔ケアの定義と目的を学ぶ。また、口腔ケアの留意点について理解する。	予：口腔の働きを調べる 復：要点整理
5	<u>入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみ①</u>	入浴・清潔保持に関連した身体機能のしくみと働きについて理解する。	予：皮膚の生理機能調べ 復：要点整理
6	<u>入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみ②</u>	心身の機能低下が食事に及ぼす影響に及び変化の気づきと対応について理解する。	予：虚弱高齢者の入浴のリスクを調べる 復：要点整理
7	<u>排泄に関連したこころとからだのしくみ①</u>	排泄の生理的な意味や、心理的な意味、便の生成や排便のしくみ、尿の生成や排尿のしくみを学ぶ。	予：排泄の機序調べ 復：要点整理
8	<u>排泄に関連したこころとからだのしくみ②</u>	尿や便の生成、排尿排便のしくみ、尿や便の性状や量、回数などを理解する。排泄機能の低下や障害の原因、心理面へ及ぼす影響を学ぶ。また、おむつの弊害等についても学ぶ。	予：正常な排便と排尿の量と回数を調べる 復：要点整理
9	<u>排泄に関連したこころとからだのしくみ③</u>	機能の低下や障害が及ぼす排泄への影響として、排便の異常（便秘、下痢等）について学ぶ。	予：便秘と下痢の機序を調べる 復：要点整理
10	<u>排泄に関連したこころとからだのしくみ④</u>	排尿の異常（頻尿、尿失禁など）について学ぶ。同時に、尿失禁に気づき把握するための観察ポイントや対応を学ぶ。また、変化への気づきと対応を重点に、医療機関や医療職との連携について学ぶ。	予：排尿障害の分類をまとめる 復：要点整理
11	<u>休息・睡眠に関連したこころとからだのしくみ①</u>	睡眠に関連した身体機能のしくみと働きについて理解する。	予：レム睡眠とノンレム睡眠を調べる 復：要点整理
12	<u>休息・睡眠に関連したこころとからだのしくみ②</u>	睡眠に関連する機能の低下や障害の原因、機能低下や障害が及ぼす睡眠への影響について理解する。変化への気づきと対応、医療機関や医療職との連携を学ぶ。	予：睡眠障害がQOLに与える影響を調べる 復：要点整理
13	<u>人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみ①</u>	死の捉え方及び生物学的、法律的、臨床的な死を学ぶ。終末期から危篤という死に至る身体の機能低下の特徴を学び、死亡時のからだ、死後の身体的変化を学ぶ。	予：身近な人への死に直面した体験をまとめる 復：要点整理
14	<u>人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみ②</u>	死の受容の段階を学ぶ。本人だけの事ではなく、家族の「死」を受容する段階も学ぶ。	予：家族の死の受容を調べる 復：尊厳死をまとめる
15	<u>人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみ③</u>	様々な苦痛の緩和のために行われる医療の実際と介護の連携を理解する。死に至る身体的な変化や、死への不安や受容を踏まえた医療機関や医療職との連携のあり方について学ぶ。	予：死についての我が国の法的な対応を調べる 復：要点整理
16	定期試験		